

令和 5 年度

日本臨床内科医会中国四国ブロック代表者会議

日 時 令和 5 年 9 月 10 日 (日)

場 所 ホテルグランヴィア岡山

(岡山県岡山市北区駅元町 1-5 TEL : 086-234-7000)

# 令和5年度日本臨床内科医会中国四国ブロック代表者会議次第

13:00～16:00 会議 3F「クリスタルの間」

16:00～17:00 懇親会 3F「パールの間」

## 1. 開会

## 2. 挨拶

島根県臨床内科医会 会長 小林 祥泰 先生

日本臨床内科医会 会長 菅原 正弘 先生

## 3. 報告・協議

- (1) 日本臨床内科医会 中央情勢について
- (2) J-DOME について
- (3) 中国四国各県内科医会の活動報告
- (4) 次期診療報酬改定の要望
- (5) 日本臨床内科医会への要望
- (6) 医療DX（デジタルトランスフォーメーション）について
- (7) その他

## 4. 講演会

「臨床内科の過去、現在そして未来へ」

日本臨床内科医会 会長 **菅原 正弘** 先生

座長 島根県臨床内科医会 会長 小林 祥泰 先生

## 5. 閉会

## 6. 懇親会

## 令和5年度日本臨床内科医会中国四国ブロック代表者会議・懇親会出席者

〔順不同・敬称略〕

### ◆日本臨床内科医会（4名）

会 長	菅原 正弘
副 会 長	福田 正博
”	小田 弘明
”	江頭 芳樹

### ◆日本医師会（1名）

常任理事	黒瀬 巖
------	------

### ◆岡山県（5名）

会 長	中島 豊
副 会 長	川口 光彦
幹 事	中村 善一
会 計	氏平 徹
理 事	佐々木 高

### ◆広島県（5名）

会 長	増岡 俊治
副 会 長	高橋 淳
”	大谷 博正
常任幹事	小田 弘明
”	阪田 研一郎

### ◆愛媛県（4名）

会 長	坂上 博
副 会 長	古林 太加志
総務幹事	窪田 理
顧 問	大野 尚文

### ◆山口県（3名）

会 長	西村 公一
副 会 長	藤本 俊文
常任委員	河村 裕子

### ◆高知県（2名）

会 長	玉木 俊雄
副 会 長	井上 眞理

### ◆徳島県（3名）

会 長	恵美 滋文
副 会 長	豊田 健二
副 会 長	上田 聡一郎

### ◆島根県（6名）

会 長	小林 祥泰
副 会 長	星野 潮
”	能美 一政
”	古田 賢司
幹 事	大居 慎治
”	伊藤 健一

報告・協議

(1) 日本臨床内科医会 中央情勢について

日臨内からのご報告

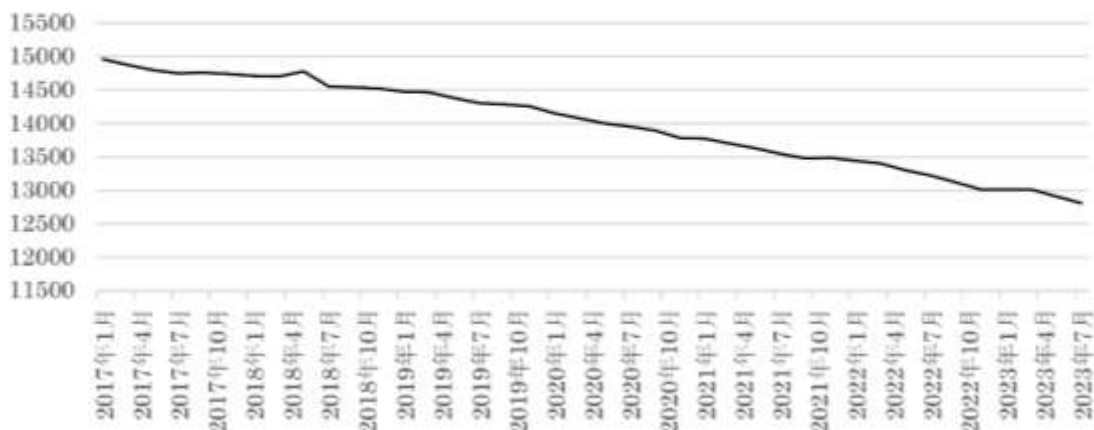
副会長（総務担当） 福田 正博

1. 会員数

1) 県別会員数(2023年8月末日現在)

医会名	会員数	医会名	会員数	医会名	会員数
北海道	196	富山県	181	山口県	294
青森県	107	石川県	197	徳島県	190
岩手県	204	福井県	224	香川県	13
宮城県	140	岐阜県	278	愛媛県	143
秋田県	123	静岡県	156	高知県	65
山形県	71	愛知県	891	福岡県	1540
福島県	148	三重県	91	佐賀県	267
茨城県	23	滋賀県	39	長崎県	293
栃木県	82	京都府	509	熊本県	294
群馬県	318	大阪府	748	大分県	151
埼玉県	709	兵庫県	516	宮崎県	284
千葉県	118	奈良県	180	鹿児島県	365
東京都	798	和歌山県	189	沖縄県	135
神奈川県	549	鳥取県	40	その他	4
新潟県	89	島根県	83		
山梨県	33	岡山県	248		
長野県	96	広島県	351	合計	12,765

2) 会員数の推移



2. 総合学術集会の開催予定（総会が2024年より改称）

第40回総会	東京	2023年4月16日	清水恵一郎 会頭
第41回総会	神奈川	2024年4月14日	金森 晃 会頭
第42回総会	大阪	2025年4月	福田 正博 会頭

3. 医学会の開催予定

第36回	福岡	2023年10月8-9日	江頭 芳樹 学会長
第37回	京都	2024年	西村俊一郎 学会長
第38回	群馬	2025年	

(参考)

第120回日本内科学会総会・講演会

2023年4月14日(金)～16日(日) 東京国際フォーラム  
小室一成会長 東京大

第121回日本内科学会総会・講演会

2024年4月12日(金)～14日(日) 東京国際フォーラム  
渥美達也会長 北海道大

第122回日本内科学会総会・講演会

2025年4月18日(金)～20日(日) 大阪国際会議場・  
リーガロイヤルホテル大阪  
竹原徹郎教授 大阪大

4. 定款改定について

- ◇ 4月の総会で新定款が承認された。
- ◇ 現在、定款の施行細則の改定作業を行っており、改正案が8月発行の日臨内ニュースに掲載予定。
- ◇ 8月31日(木)に定款施行細則改定に関する説明会をWEBで開催。
- ◇ 理事会、代議員会で承認を受け医学会の際に臨時総会を行い最終承認。
- ◇ その後、新定款での選挙を実施する。

5. 日本臨床分科医会代表者会議を当会主管で開催。

医学会後、10月26日に会合を開催予定。

6. 「かかりつけ医のためのWEB講座」について

- 1) 2021年11月から日臨内「かかりつけ医のためのWEB講座」と題して講演会を開始した。学術部専門班の班員による講演を毎回3題実施、8月の開催で、19回の開催となった。次回は9月28日を予定。
- 2) 目的は、非専門領域の知識の充足と新規会員獲得。
- 3) 総会、医学会を除く年10回開催。参加人数は600～900名で推移。事前申し込みは1000名前後。
- 4) 講演動画のアーカイブを2022年3月に公開。サーチエンジンからのアクセスも順調に推移している。
- 5) 課題：
  - ①協力していただいている都道府県とそうでないところの差が大きい。非会員も対象にしていることから、会員増強にもつながるため参加および協力を呼びかけていただきたい。
  - ②長く続けると演題と講師の継続的な確保が課題になる。
  - ③スポンサーの継続的な獲得。

7. 会員の専門領域調査について

- 1) 全会員に対して専門領域の調査を行う。日臨内としては必ずしも専門領域がなければいけないわけではないため、回答は任意。
- 2) アンケートについて日臨内ニュースやメールマガジンなどで呼びかけを行い、回答をWEBフォームやFAXなどで収集。
- 3) 会員の情報として管理、学術委員会の活動や調査研究などで活用予定。日臨内の活動をより充実させるためにご協力をお願いしたい。

8. IT委員会の委員募集について

IT委員会の委員を募集していて各ブロックから適任者がいれば推薦してもらいたい。

9. 理事会・代議員会について

代議員会の本郷議長より、全国組織の日臨内の代議員会はWEBでの開催が合理的との判断。医学会の前の週9月30日（土）にWEB開催。

日時：9月30日（土）

◆第80回 理事会 15:00～16:00

◆第69回 代議員会 17:00～19:00

## (2) J-DOME について

日本医師会常任理事 黒瀬 巖 先生

別冊参照

### (3) 中国四国各県内科医会の活動報告

#### ① 会員数

県名	県内科医会会員数 (名)	日臨内会員数 (名)	
岡山県	268	246	令和5年6月1日現在
広島県	410	348	令和5年3月31日現在
愛媛県	674	145	令和5年6月14日現在
山口県	482	291	令和5年3月31日現在
高知県	67	67	令和5年4月1日現在
徳島県	190	190	令和5年4月1日現在
島根県	84	84	令和5年4月1日現在
合計	2,181	1,379	

#### ② 会員増強の取り組み

##### ◆岡山県

##### 【現状報告】

令和2年度から新型コロナウイルスの流行予防の点から集会の開催数が減り、会員間の交流が激減した。

令和3年度からは、Web meeting 等による集会の開催は増えたが、令和4年度も実際に医師会の会員同士の対面回数が少なく、直接面談での勧誘活動は実施できていない。

令和4年度は、物故者を含む退会者数と（郵便等による勧誘が功を奏したのか？）入会者数との差は、僅か1名に留まり、会員数は、概ね横ばいで推移している。



### 【今年度の取り組み】

岡山県内科医会の会員は殆どが臨床内科医会の会員でもあるが、引き続き独自性の高い講演会や勉強会を通して、会の存在意義を浸透させる地道な努力が必要と思われる。

講演会は、製薬会社の講演会等がひしめく中で、より実臨床に直結し興味を持ってもらえるコンテンツを企画できるか、キーポイントと思われる。

最も重要な点は、『臨床内科医会の会員になることで得られるメリットが何か？』であり、情報ソースの多い現在、他のコンテンツとの差別化、優位性をいかにアピールできるのか、内科医会全体が抱える課題と思われるが、当面は、前述のような会員のメリットに共感して、会への興味を引き出すかが大切と考えている。

令和5年度も内科系の県医師会新規会員登録者への、勧誘を行っている。

### ◆広島県

複数医師のいるクリニックへのアプローチ

### ◆愛媛県

研修医、医学生に、講演会（会場・WEB）参加を呼び掛けている。講演会の受付に、日臨内科医会のパンフレット・入会申込書を準備している。

### ◆山口県

- ・医師会入会時に積極的に勧誘
- ・学術講演会等を通じて、入会の案内をする
- ・「かかりつけ医のためのWEB講座」聴講を勧める

### ◆高知県

- ・内科の診療を標榜する新規開設医療機関に対して、内科医会加入の案内文書を送付する。
- ・各役員の先生方から、未加入の先生に対して直接働きかけていただく。

### ◆徳島県

- ・新規開業時や医師会に入会時に当会の説明や案内文を渡している。
- ・学術講演会やカンファレンスを開催しており、会員以外の先生にもパンフレット配布したりFAXで案内したりして、講演会への参加および入会を勧めている。
- ・現会員、特に役員が会員増強の意識を持ち、友人・知人に入会を勧誘するようにしている。

- ・ 県医師会報と一緒に日本臨床内科医会が催している「かかりつけ医のための Web 講座」のパンフレットを同封して県内医師会会員全員に配布している。

◆ 島根県

- ・ ホームページを充実させ、活動内容について分かりやすく提示している。
- ・ 有志会員による海外論文のトピックスの要約を月 2～3 編、年間 34 編掲載し、会員以外の医師に興味を持ってもらうよう工夫している。

③ 活動内容について（学術講演会、発刊物、ホームページなど）

◆ 岡山県

- (1) 岡山県内科医会学術講演会 ～HPV ワクチン接種勧奨再開を迎えて～  
令和4年6月4日（土） 共催：MSD株式会社 WEB 開催  
演題Ⅰ：『HPV ワクチン 有害事象に関わる診療体制の  
確立に向けた拠点病院としての役割』  
講 師：岡山大学病院 産科・婦人科 講師 小川 千加子  
【特別講演】  
演題Ⅱ：『HPV ワクチン接種勧奨再開のインパクト  
～ワクチン停止時代と何が変わったのか？～』  
講 師：日本大学医学部 産婦人科学系  
産婦人科学分野 主任教授 川名 敬
- (2) 令和4年度岡山県医師会内科部会・岡山県内科医会合同会議・総会  
令和4年6月11日（土）402会議室、三木記念ホール  
【記念講演】  
演題：『尊厳死・安楽死と人生会議』  
講師：医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長 長尾 和宏
- (3) 岡山県内科医会学術講演会 WEB 開催  
令和4年9月10日（土） 共催：武田薬品工業株式会社  
演 題：『パーキンソン病対処法 update』  
講 師：岡山脳神経内科クリニック 院長 柏原 健一
- (4) 岡山県医師会・岡山県内科医会 循環器 Physical Examination 講習会  
令和5年2月25日（土）岡山県医師会館 402 会議室 ハイブリット開催  
演 題：『外来でこんなに役立つ心臓聴診』

講師：山本内科循環器科 院長 山本 正治  
心臓病センター榎原病院 内科診療部長 林田 晃寛

## ◆広島県

### 【学術】

- ・広島県内科会学術講演会 全7回  
2022年5月16日(月) 広島大学大学院 分子内科学 教授 服部 登 先生  
2022年5月28日(土) 広島大学病院 腎臓内科 教授 正木崇生 先生  
2022年6月16日(木) 昭和大学医学部 内科学講座循環器内科学部門 教授 木庭新治 先生  
2022年7月15日(金) 神戸労災病院 総合内科・腎臓内科 部長 佐藤 稔 先生  
2022年11月18日(金) 岡山大学学術研究院医歯薬学域 循環器内科学 教授 伊藤 浩 先生  
2022年12月15日(木) 広島大学病院 精神科 教授 岡本泰昌 先生  
2023年3月14日(火) ルークス芦屋クリニック 院長 城谷昌彦 先生

### 【広報】

- ・広島県内科会会誌 第23号発行（発行部数650部）
- ・会員メーリングリストによる情報発信

### 【医療保険・介護保険】

- ・審査メモの配布
- ・社保審査委員・国保審査委員
- ・令和5年度診療報酬改定要望事項と日臨内要望項目提出

### 【地域医療・公衆衛生】

- ・日医かかりつけ医機能研修制度
- ・認知症高齢者の運転免許更新に関する診断書作成
- ・医療事故調査制度・医事紛争委員会への協力
- ・学校医部会への協力
- ・地对協による胃内視鏡検診実施体制検討WGの報告
- ・薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン
- ・新型コロナウイルス感染症対策

## ◆愛媛県

令和4年12月10日 愛媛県内科会総会  
会務報告、会計報告及び監査報告  
特別講演

1. 心不全診療 UP-TO-DATE  
愛媛大学大学院地域救急医療学講座 池田俊太郎教授
2. 日常診療に潜む血小板・血液凝固異常症  
愛媛県赤十字血液センター 羽藤高明所長

令和5年6月10日 愛媛県内科会学術講演会

指名講演

1. 消化器がんに対する免疫療法  
住友別子病院 松原 稔先生
2. 中学生ピロリ菌検診の取り組みについて  
愛媛県立中央病院 二宮朋之先生
3. 慢性心不全患者における園芸習慣とフレイルの関連  
喜多医師会病院 齋藤 実先生

特別講演

1. 内科医のための脳神経内科診療スキルアップ～コモンディーズ攻略のコツ～  
愛媛大学大学院難病・高齢医療学講座  
越智博文教授
2. 消化器癌の撲滅をめざして～早期診断のための囲い込みと liquid biopsy の新展開～  
岡山大学大学院消化器・肝臓内科学  
大塚基之教授

#### ◆山口県

- ・学術講演会の開催（県内科医会・郡市内科医会主催）
- ・県内科医会学会・総会の開催（今年度は8月27日長門市で開催）
- ・「すこやか手帳」を全会員に各50部無料で配布予定
- ・県内科医会会報（年2回）発行、県内科医会会誌（年1回）発刊

#### ◆高知県

令和4年7月23日

高知県内科医会学術講演会（会場・WEB配信）

- ・「がん診療における腫瘍内科の役割」  
高知大学医学部 腫瘍内科学講座 教授 佐竹 悠良 先生
- ・「逆流性食道炎の治療／経鼻内視鏡のとおき」  
出雲徳洲会病院 内視鏡センター長 結城 美佳 先生

令和5年2月16日

高知県内科医会学術講演会（会場・WEB配信）

- ・「糖尿病性腎症治療の最近の話題」  
高知大学医学部 内分泌代謝・腎臓内科 教授 寺田 典生 先生

- ・「心腎貧血関連について ～腎性貧血における HIF-PH 阻害薬の期待～」  
兵庫医科大学病院 循環器内科 講師 内藤 由朗 先生

#### ◆徳島県

- ・年間4回以上を目標に、学術講演会とカンファレンスを催している。  
(学術講演会は県外のエキスパートの先生の講演を行ってもらい、カンファレンスは徳島大学の先生に講演を行ってもらい親睦を深めている。)
- ・学術講演会 令和4年7月26日(火) 県医師会館と Web のハイブリッド  
「ガバベンチノイドの可能性と課題」  
独協医科大学 麻酔科学 教授 山口 重樹 先生
- ・第20回カンファレンス 令和4年9月28日(水) 県医師会館と Web のハイブリッド  
「ガイドラインに基づく炎症性腸疾患の診療」  
徳島大学医学部 地域総合医療学 特任教授 岡久 稔也 先生  
「変わりゆく進行がんの治療～遺伝子パネル検査による個別化や免疫療法も含めて～」  
徳島大学医学部 消化器内科 教授 高山 哲治 先生
- ・学術講演会 中国四国地区 実地医療家のための学術講演  
Scientific Exchange Meeting for CKD  
令和4年10月20日(木) Web 配信のみで  
総合司会 高知大学 医学部 腎臓内科 教授 寺田 典生 先生  
徳島県臨床内科医会顧問・日本臨床内科医会副会長・近藤内科病院院長 近藤 彰 先生  
「CKD の最新治療と K コントロールの重要性」  
久留米大学医学部 腎臓内科 助教 中山 陽介 先生  
「対話(ダイアログ)を腎臓診療に活かすために」  
鳥取大学 地域医療学 講師 孫 大輔 先生  
「CKD 早期診断・早期治療介入の重要性」  
新潟大学 医歯学 腎・膠原病内科 講師 俣田 亮平 先生
- ・学術講演会  
令和4年12月13日(火) 県医師会館と Web のハイブリッド  
「COVID-19 流行下におけるインフルエンザ診療」  
長崎大学 呼吸器内科 教授 迎 寛 先生
- ・学術講演会  
令和5年2月17日(金) 県医師会館と Web のハイブリッド

「知っておきたい上気道疾患～COVID-19も含めて～」

大阪はびきの医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 部長 川島 佳代子 先生

・総会后学術講演

令和5年5月29日(月)

「新型コロナ感染症対策」「感染対策防止加算・連携強化加算に求められる地域連携の重要性」

徳島大学病院 感染防御部 准教授 感染制御部長 東 桃代 先生

・学術講演会

令和5年6月20日(火) 県医師会館とWebのハイブリッド

「食塩感受性高血圧とミネラルコルチコイド受容体」

帝京大学 腎臓内科 教授 柴田 茂 先生

- ・毎年11月に「徳島県臨床内科医会 会報」を刊行し、全会員に配布している。令和4年も第27号を配布し、令和5年11月には第28号配布を目標に現在作成中である。
- ・保険診療に関して、当会ホームページの「保険の部屋」で、審査委員が審査に関する情報を提供したり、会員からの質問に回答したりしている。
- ・「私のリビングウィル」活動を積極的に行っており、ホームページにリビングウィル冊子を用意している医療機関を検索できるようにしている。

◆島根県

- ・第1回学術講演会 (Zoomによる開催) R4.4.14

演題：『新型コロナ対策の工夫と苦勞

～大阪で最初に新型コロナ発熱外来を立ち上げた開業医の奮戦記～』

講師：太融寺町谷口医院 院長 谷口 恭先生

- ・島根県臨床内科医会総会・講演会 (ハイブリッドによる開催) R4.4.18

演題：『脳卒中診療における脳卒中ケアユニットの意義』

講師：島根大学医学部附属病院 高度脳卒中センター

教授 林 健太郎 先生

- ・島根県臨床内科医会総会・学術講演会 (ハイブリッド) R5.4.17

演題：『高齢者の心房細動治療』

講師：日本老年医学会理事長 秋下雅弘先生

(東京大学大学院医学系研究科 老年病学教授)

- ・有志会員による海外論文のトピックスの要約を月2～3編、年間34編ホームページに掲載している。

## (4) 次期診療報酬改定の要望

## ◆岡山県

[資料一] 令和4年度 診療報酬改定の評価と次期改定への要望

点数項目	具体的内容
新型コロナウイルス感染症への対応	○2類感染症患者入院診療加算(250)の延長は疑い患者を診る手間、負担に対しての手当として評価できる。
新型コロナウイルス感染症への対応	○5月8日より2類相当から5類に変更するにあたって、病床確保や院内感染防御対策に十分な予算措置が必要であり、一定の公費負担の継続と、激変緩和の財政措置の継続を要します。
リフィル処方箋の導入	○財政的な理由のみにて導入されたのは極めて残念。医療機関の経営にとって打撃になるだけでなく療養担当規則のもあるように医師が予見できる範囲での処方、再診と言った、患者の状態把握、安心安全の確保が難しくなり患者の健康を守る視点からも問題。改善を望みたい。
外来感染対策向上加算の新設	○感染症対策の重要性から、新設は評価できるが診療所にとって算定要件を満たすためには、研修実施、カンファレンス、訓練への参加などが求められハードルが高くまた労力の割に点数が低く、一人診療所でも対応できるように改善してほしい。
紹介状なしで受診する場合等の定額負担見直し	○大病院に紹介状なしで受診する場合の定額負担の見直しはかかりつけ医と紹介受診医療機関との連携をさらに深め、評価できる。特に夜間救急外来のコンビニ受診の抑制につながり医療資源の適切な利用の面からも大いに評価できる。
情報通信機器を用いた初診に係る評価の新設	○情報通信機器を用いた初診の新設は今回コロナ禍の中急速に進められた感があり、オンライン診療では得られる情報には限界があり、初診は離島や僻地で医療機関が近くにないなどと特殊な場合を除き不適切であると考えます。初診時は原則対面にて診察を行なうべきものと考えます。また今回のオンライン診療の初診解禁に伴いオンライン診療のみを行なうDMM等の企業の医療への進出、アマゾンの薬局業務への進出と提携といった患者の安全の確保とは別の営利目的の事業者が出現しつつあり、医療機関の経営と患者の安全が脅かされるのではないかと危惧します。
オンライン資格確認と電子処方箋の原則義務付け	○オンライン資格確認は資格確認が容易になるなど評価できる点もある一方、零細な診療所、高齢の医師にとっては大きな負担となりこれを機会に廃業する医療機関もあり拙速な導入は問題があり評価できない。電子処方箋の導入も同様に義務化される傾向だが、導入には機器やプロバイダーに問題があり時期尚早である。



## 岡山県

## IV

## 次期（令和6年度）診療報酬改定に対する要望項目

番号	点数項目	具体的内容	現行点数	要望点数
1	第1章第1部 初・再診料 時間外加算、休日加算	土曜日の取扱い 土曜日は休日という社会一般のコンセンサスは確立されており、働き方改革で医療機関も外来は全休とする医療機関が増えている。未だに土曜日は午前8時前と正午以降を時間外とする取扱いは実情にそぐわない。休日扱いを認めるべきと考えます。		
2	B001・15 慢性維持透析患者外来医学管理料	BNPは慢性時透析患者外来医学管理料に含まれている。同様の目的で実施されるNT-proBNPについても同じ扱いが妥当と思われる。(エンレスト投与時にBNP値が上昇するために算定する医療機関が増えている。)		
3	0000 往診料	併設する診療所等から頻回に往診を行い算定していただく医療機関がある。月1回の包括点数、往診回数に応じた点数設定等を考慮しては如何。		
4	0002-2 施設入居時等医学総合管理料	左記において、単一建物診療患者数が「1人の場合」と「2～9人以下の場合」で点数が違うが、実際は死亡日から遡って30日以内に死亡者がいるかどうかで点数が変わることになる。その為、遡って30日以内に死亡者がいなかった場合の患者は、その後30日以内に死亡者が出るかどうかで「1人の場合」と「2～9人の場合」で点数が変わることになり、死亡後30日間経たないと、請求点数が確定できないことになる。ゆえに、遺族に金額を請求する時に「あと30日以内にもう1人施設で亡くられる方が入れれば、請求金額が安くなるので、もう少ししばらくお待ちください。」と言う形になるが、これは一般常識として考えておかしいのではないかと。	【例】 月1回訪問診療を行っている場合 亡くなった方が1人の場合 1,800点 2～9人の場合 990点	最初の1人については「単一建物診療患者が1人の場合」として点数を確定して、その30日以内に亡くなった方がおられれば2人目から「2～9人の場合」で点数を確定してほしい。



5	D223 経皮的動脈血酸素飽和度測定	血圧測定検査、体温測定等と同様に、基本診療料に含まれる取扱いにしては如何。		
6	D282-3 コンタクトレンズ検査料	コンタクトが全く初めての方にはレンズ選択、装用指導などに非常に時間がかかるので、初心者加算が望ましい。	200	360 (初コンタクトのみ) 他は200のまま
7	H002 運動器リハビリテーション料 (Ⅲ)	「常勤の理学療法士が勤務している場合に限る」を非常勤理学療法士または作業療法士も可としてほしい。 看護師によるみなし理学療法士で請求したいが看護師確保困難で実行できなくなった。 患者は看護師によるリハよりPT/OTによるリハを希望する。	非常勤 0	85点
8	入院時食事療養 (Ⅰ) 経口食 流動食 (Ⅱ) 経口食 流動食	ロシアのウクライナ侵攻、石油価格や食料価格の上昇、円安の影響で2023年1月の物価上昇率は4% (日経新聞) となりました。特に、エネルギーは26.0%、食料は7.0%上昇し、今年度は電力料金の更なる値上げが予定されています。この1年でマクドナルドのハンバーガーは110円から段階的に170円に値上げされました。一方で入院食事は消費税8%の時から据え置きです。厨房職員の待遇改善も必要です。	(Ⅰ) 経口食 64.0点 流動食 57.5点 (Ⅱ) 経口食 50.6点 流動食 46.0点	(Ⅰ) 経口食 86.4点 流動食 73.6点 (Ⅱ) 経口食 66.8点 流動食 59.5点
9 電点	救急医療管理加算	新型コロナウイルスが5類に落ちると同時に加算も従来の点数から半分となる。しかし、現場の状況 (新型コロナウイルスに対する感染対策 etc) は変わるわけではなく感染者数は減っても感染者一人一人にかかると業務量が軽減するわけではない。よって次回改正後も引き続き算定できるようにご配慮いただきたい。現場では人員不足でスタッフは疲弊している。	950点~5,700点	

※令和5年4月21日 (金) までに広島県医師会あてにご提出ください。

### ◆広島県

- ・特定疾患療養管理料の見直し
- ・「かかりつけ医制度」の拙速な改定は行わない特定疾患療養管理料の見直し

### ◆愛媛県

- ・初診料、再診料、管理料、入院基本料などの基本的な診療費を増額して欲しい。加算による診療報酬増額は限度がある。人件費、材料費、電力料金などが上昇してゆく中で、医療費のみほぼ据え置きでは、医療機関の運営が困難である。
- ・入院時食事療養費を適正な額に是正してもらいたい。人件費、食材費、消費税、光熱費などが上昇している中、30年近く全く増額なく、据え置かれたままの状態である。
- ・各種の加算項目があるが、要件が複雑であり算定が困難であることが多い。シンプルな形にならないものか。

### ◆山口県

- ・リフィル処方せんの見直し
- ・初診からのオンライン診療の制限
- ・感染症対策に対する診療報酬の継続

### ◆高知県

- ①診療料の引き上げ
- ②特定疾患療養管理料の適正化
- ③薬剤料の多剤減算の廃止
- ④診療情報提供料の同一医療機関複数科の算定
- ⑤眼科等の手術前情報提供依頼についての扱いについて

### ◆徳島県

- ・一般企業の賃上げが発表される中、病院院では困難である。病院でも賃上げできるように診療報酬を見直し改定してほしい。
- ・後発品不足で出荷調整が掛かり、薬が処方できない状態である。その様な中、外来後発品使用体制の加算要件が引き上げられたのは不当である。元に戻すべきである。
- ・何もかもコストが上がっており、医療は患者に転嫁できず、病院経営ましてや個人開業医は困っている。改正を宜しく願います。
- ・導入ランニングコストを診療報酬として出してほしい。

- ・長期処方が増え 60 日、90 日という処方も多い。管理料は受診から次の受診までの管理であるから、処方日数に合わせて管理料の点数も増やしてほしい。
- ・糖尿病の自己血糖測定加算の測定回数の分け方が大雑把で、現実と合わず持ち出しになっていることが多々ある。キット自体を点数化して算定できるようにしてほしい。
- ・〇〇やったら点数をやるというのが多すぎて、複雑で算定をやりにくい。もっと基礎部分の点数を上げるべきである。
- ・診療所における ACP の保険収載を認めてほしい。「私のリビングウイル」等の書面を用いた ACP を行うと、1 回 300 点、年 4 回まで請求できるようにしてほしい。

#### ◆島根県

##### ①初診料、再診料のアップ。

物価上昇、オンライン資格確認、電子処方箋等の医療 DX の推進により、医療機関では導入時だけではなく、維持管理費、サイバーセキュリティ対策費など負担が増加している。

またオンライン資格確認においては、問診項目の指定や同意の確認などで受付事務の業務が増大している。初診料、再診料等での適切な評価を要望する。

##### ②特定疾患療養管理料について

長期処方が増える中、月一回の算定で点数増加を要望する。

また、対象疾患に「慢性腎臓病」「逆流性食道炎」「過敏性腸症候群」の追加を希望する。

## (5) 日本臨床内科医会への要望

### ◆岡山県

日臨内の会員になることのメリットを全面的に打ち出してもらいたいと思う。

例：診療報酬への要望を出しやすいなど

### ◆広島県

透明性の高い人事

### ◆愛媛県

会員が高齢化して退会してゆく一方で、若手の新入会者が増えない。入会のメリット、また、新入会に至った経緯、入会してからの感想など具体例を含めて記載したパンフレットのような物を作成してもらいたい。

### ◆山口県

なし

### ◆高知県

- ①日医から「かかりつけ医」の基本姿勢を示す提言があり、政府からは骨太方針の中に「かかりつけ医機能の制度整備」が閣議決定され、国民目線での改革を進めるとされた。日臨内においても今後の動静を見極め一歩先んじた対応をお願いしたい。
- ②オンライン診療、リフィル処方、マイナンバー保険証義務化など、コロナ後を見据えた対応や指針の検討等、会員に向けた情報提供をお願いしたい。
- ③入会勧誘について、パンフレット等の活用を行っているところであるが、会誌等の見本や魅力を伝える冊子の提供をお願いしたい。

### ◆徳島県

- ・DXについても対応の指導をしてほしかった。

### ◆島根県

- ・新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、V-SYS、HER-SYS、G-MIS など様々なシステムが運用され、

診療中ないし終了直後に入力すべきものが多くあり各医療機関では対応に追われ、大きな負担となっていた。

国を挙げての感染症対策に必要なものであったとは考えるが、行政側の関係部署がばらばらで、システムの定期的な検証も不十分であったと感じる。

2024年度から全国の電子カルテの情報共有、クラウドベースの電子カルテの導入が計画されるなど、今後様々な医療DX関係のシステムが作られて行く中で、日本臨床内科医会としても内科医の立場から必要性を検証し、医療機関への負担が軽減できるよう行政に要望していただきたい。

・マイナンバーカードの保険証の一体化について

国民の大多数の反対と現場でのトラブルが多発しているのはマスコミで報道されています。

都会で若い方を対象に診療される場合には、あまり問題はないのかもしれませんが、過疎地で診療をしておりますと、独居老人への周知、施設での保管業務、受付での確認ミス、それに伴う受付業務の混乱等が発生することは間違いありません。

また私の知る限りでは、昨年未から当県では8医療機関の閉院があります。そのうち60代が3件、70代が4件、80代が1件です（すべて内科系）。体力的な問題もあったのかもしれませんが、今回のマイナ保険証の義務化が引き金になっているのも大きな原因だと思っています。私も患者数の激減で赤字部門の分院を開設しておりますが、これを機会に廃院届を提出する予定にしています。

そこで沢山の診療科がある中でも、高齢者や弱者に接する機会が最も多い内科医が、どのような問題意識を持っているのか、どのようなトラブルが発生しているのか、また各県で何件の廃院が有ったのかを調べてみることは必要なことだと考えますが、執行部のご意見をお聞きします。

## (6) 医療DXに関するアンケートについて

別冊参照

## 講演会

# 「臨床内科の過去、現在そして未来へ」

日本臨床内科医会 会長 菅原 正弘 先生

座長：島根県臨床内科医会 会長 小林 祥泰

## ～ 略 歴 ～

令和5年6月現在

### < 学歴・職歴 >

- 昭和55年 順天堂大学医学部卒業
- 昭和57年 順天堂大学内科学講座入局
- 昭和57年 順天堂病院にて内科診療に従事
- 平成05年 菅原医院にて診療（現職）
- 平成10年 東京内科医理事、練馬区医師会糖尿病治療研究会（代表）
- 平成13年 東京都糖尿病協会理事
- 平成15年 日本臨床内科医会常任理事、東京都糖尿病協会副会長
- 平成16年 東京都内科医副会長（学術担当）
- 平成17年 順天堂大学同窓会城北支部長
- 平成18年 東京都糖尿病協会会長、日本糖尿病協会理事
- 平成18年 第20回日本臨床内科医学会実行委員長、日本糖尿病対策推進会議ワーキンググループ委員（日本医師会選出）
- 平成20年 第48回日本糖尿病協会総会・年次集会会長
- 平成21年 東京都医師会 健康食品の安全性に関する検討会委員会
- 平成22年 日本糖尿病療養指導士認定機構理事
- 平成24年 東京内科医会会長
- 平成25年 第30回日本臨床内科医会総会会頭
- 平成26年 東京都糖尿病協会顧問
- 平成28年 第30回日本臨床内科医学会会長
- 平成29年 第34回日本臨床内科医会総会会頭、日本臨床内科医副会長
- 平成29年 東京CDE（東京糖尿病療養指導士認定機構）代表幹事
- 令和5年4月 日本臨床内科医会長



### < 受賞 >

- 平成13年 日本臨床内科医学会会長受賞
- 平成16年 東京都医師会グループ研究賞受賞
- 平成21年 東京都内科医会川上記念賞受賞

< 委員 >

日本糖尿病対策推進会議委員 日本糖尿病対策推進会議 ワーキンググループ委員  
東京都糖尿病医療連携協議会副会長

< 評議員・専門医 >

医学博士、日本糖尿病学会評議員・日本内科学会評議員を歴任し  
現在、

日本糖尿病学会功労学術評議員

日本リウマチ学会専門医評議員

日本消化器内視鏡学会専門医

日本専門医機構総合診療専門研修 特任指導医

< 著書 >

40歳からの糖尿病との上手なつき合い方（中経文庫）

高脂血症（講談社）

よくわかるメタボリックシンドローム脱出法（講談社）他〈医師向け〉

ここが知りたい！かかりつけ医の糖尿病Q&A（南山堂）

患者の健康寿命を伸ばすための実践マニュアル

（日本医学出版）〈医師・コメディカル向け〉